



障害者の自立と就労の支援を続ける神戸市東灘区向洋町中六、社会福祉法人「プロップ・ステーション」理事長の竹中みなみさん。神戸市が、初のCD「ゆかりがとう」を作った。重畳の心始めのきつかけとなった娘の麻紀さんみや、活動を支える人たちへの感謝の思いがこもる。収益は活動資金に回すという。

(小西博美)

社会福祉法人「プロップ・ステーション」

竹中理事長

障害者支援へ感謝の歌

神戸 歌つことが大好きな竹中

さんが選暦を迎えた昨年、友人たちがお祝いに「と、竹中さんがライブが聞くとできるような会場の確保などに協力した。神戸や東京でライブを行ううちに、「CDも作ろう」と盛り上がったという。

CDの収録曲は「プロップな世界」と「トありがとう〜私からあなたへ〜」の二曲。竹中さんが作つたり、ギターリストのせきこくちさん、大阪市内と共作したりした詞で、せきさんが曲を付けた。「プロップな世界」はレゲエ調で、「その手を離すなよ」というフレーズが繰り返される。「歌詞に『一人では生きてい

感謝の気持ちをこめたCDを制作した竹中みなみさん。神戸新聞社(撮影・山崎 竜)

還暦機にライブ、初CD

「多くの人に聞いてほしい」

けないけれど、みんなが支え合って生きている」その思いをこめた「竹中さん」。「トありがとう」は、せきさんが「自然に詞とメロディが降りてきた」という。

麻紀さんは、竹中さんの歌を聞くに笑顔をみせるという。「娘のおかけで母親らしくなれたし、いろんな人の応援で支援活動もできた」という竹中さんが、娘や支援者への感謝を伝えるCDになっている。

ジャケットの写真はプロップのセミナー受講生が撮影した。竹中さんは「音楽は言葉を超え、深いところで人の心をつなぎ、あたかくする。一人でも多くの人に聞いてほしい」と話す。

千円。問い合わせは、プロップ・ステーション ☎078・845・22